

のびゆく

長崎っ子

68



長崎市青少年育成連絡協議会だより

今号の内容です。ぜひ読んで下さい。

- ★「全国大会、スタッフの皆さん大変ご苦労さまでした」
- ★第16回長崎市青少年育成連絡協議会広報紙コンクール・事例発表会

- ★健全育成キャンペーン
- ★子どもゆめフェスティバルに参加して
- ★受賞者紹介
- ★つなぎに乾杯（その2）
- ★編集後記

第43回

全国子ども会育成中央会議・研究大会

が開催されました



「全国大会、スタッフの皆さん

大変ご苦労さまでした」

第四十三回（平成二十一年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会が（社）全国子ども会連合会及び（財）長崎県子ども会育成連合会の主催で、去る二月十九日（金）～二十一日（日）に渡って、全国の子どもの会活動に携わっている約七百人の皆様を迎え、長崎市で開催されました。

一日目は、開会式・表彰式・子ども会伝承芸能発表・記念講演が行われました。芸能発表は、諏訪小六年生全員による「子ども龍踊り」、記念講演は「国際貿易港長崎の秘話」で、ブライアン・バークガフニ教授の長崎ならではの興味深い話でした。

二日目は、九つの分科会に分かれ、終日、全国の仲間と、それぞれのテーマに沿った熱心な協議が行われました。

三日目は、分科会報告、シンポジウム「子ども会、明日への展望」、と閉会式が行われ、シンポジウムでは「長崎県の「こころねこ」運動」にパネラーの関心が集中しました。

なお、今回の長崎大会では、個人の部・梅香崎中学校区青少年育成協議会の池田陽子さん、団体の部で矢上小学校区・馬場子ども会が全国表彰されました。

受賞者のひとこと

梅香崎中学校区青少年育成協議会 池田 陽子

私は子ども会との関わりで、多くの人との出会いが広がり、大切な宝を頂きました。今回の受賞は、共に喜びを支え合う仲間がいたからと感謝し、この絆を大切にしたいと思えます。地域の子もたちが健全に育つ社会を作るのは、地域の大人の姿勢と取り組みが大切だと思います。子どもたちに思いやりや人との絆を大切に伝える心を持って行くために、大人が何をすればいいのかを話し合い、行動を続けていけたらと思います。

